

備前市事務事業評価表

事務事業名	国立公園等管理事業(備前)		コード	04-03-01-03
			担当課・係	商工観光課 観光係
			担当者	岩崎和久
			電話	64-1832(274)
事業実施期間	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
総合計画 事業(政策)体系	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり		
	小項目(施策)	観光		

事業について	
目的 (何のために)	国民の財産である国立公園を有効に使用し、多くの方に訪れていただくこと。また、その良さを実感し、美しい国土の保全を訴えるため。
対象 (誰・何を対象に)	国民、観光客
内容	夕立受山等管理事業(草刈り、トイレ掃除など)

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
管理委託施設	1 施設	2 施設	
草刈り	2 回	4 回	
トイレ掃除	12 回	12 回	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	646	間接補助金等	609	直接事業費	656	間接補助金等	609
	人件費	650	受益者負担		人件費	1,736	受益者負担	
	市債			市債		市債		
合計	1,296	一般財源等	687	合計	2,392	一般財源等	1,783	
				合計	0	一般財源等	0	

結果指標	必要人員	0.08	人	0.22	人
	結果指標名	管理委託施設数		管理委託施設数	
	結果指標量	14		16	
	単位	回		回	
結果指標	対前年比	-		114.29%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,296,000	円	2,392,000	円
	単位当たりコスト	92,571	円	149,500	円
	結果指標名	管理委託施設数		管理委託施設数	
結果指標	結果指標量				
	単位				
	対前年比	-			
	活動にかかるコスト		円		円
単位当たりコスト		円		円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	適正な管理
成果指標名	施設維持管理
	式又は説明
	当初予定通り適正な管理を行う
成果指標量	17年度
	18年度
対前年比	-
	114.29%
到達目標値	適正な管理
	到達目標年度
	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	国立公園は、備前市にとって重要な財産であり、その適正な管理と運営は必要不可欠なことである。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	受託団体が適正な運営を行っているか確認する。利用状況などから、現在の管理体制が適当であるかどうかを随時検証する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	国立公園は、美しさ素晴らしさを観光客、住民に知っていただくために、環境整備することが大切である。

平成19年度の状況		説 明	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		観光資源としての役割強化と瀬戸内海国立公園の保全という方向性を模索するとともに、現状施設を適切に管理しながら、将来の方向性を検討したい。	
目標値	結果指標量	14	結果指標量
	成果指標量	適切な管理	

総合評価	国立公園は重要な国民の財産であり、その管理は適正に行わなければならない。現在は、適正に管理されていると思うが、今後、観光資源としての活用を検討する必要があるのか、最適な管理を目指す必要があるのかを検討したい。	評価区分 <A~E> C
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	管理委託している団体の効率的な運営を指導する	随時	効率的な財政支出となる
有効性	定期的に対象地域を巡回する。	随時	適正な管理ができる